



しんじょう  
**神奈川県立新城高等学校**  
 KANAGAWA PREFECTURAL SHINJO HIGH SCHOOL



所在地：神奈川県川崎市中原区下新城 1-14-1  
 電話：(044)766-7456  
 F A X：(044)752-7812  
 U R L：http://www.shinjo-h.pen-kanagawa.ed.jp/  
 創立：昭和 38(1963)年 5 月  
 課程：全日制  
 設置学科・生徒数・学級数

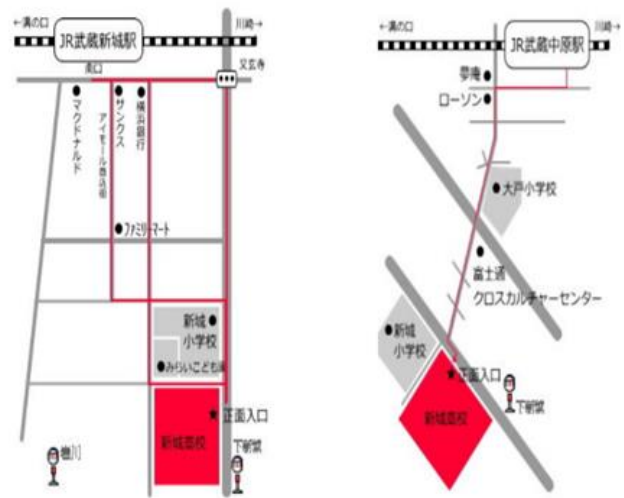
	1 年	2 年	3 年	計
普通科	274	275	270	819
学級数	7	7	7	21

(生徒、学級数については平成 30(2018)年 5 月 1 日現在)

〈学校案内図〉

利用交通機関

- JR 南武線 武蔵新城駅 徒歩 12 分
- JR 南武線 武蔵中原駅 徒歩 12 分
- 川崎市バス・東急バス「下新城」下車  
徒歩 3 分
- 川崎市バス・東急バス「岩川」下車  
徒歩 7 分



(1) 学校の特徴

川崎市のほぼ中央に位置し、JR南武線武蔵中原駅または、武蔵新城駅から平坦な道を徒歩 12 分の閑静な住宅地にあります。昭和 38(1963)年に、地元の熱心な誘致活動によって開校した全日制普通科の高等学校で、昭和 60(1985)年から海外帰国生徒を受け入れてきました。平成 30(2018)年 4 月現在の生徒数は 819 名(21 学級)で、生徒は伸び伸びとした雰囲気の中で、明るく勉学や部活動に日々励んでいます。自由な雰囲気の中でも自らを律し、互いに個性を尊重しあうことが校風となっており、海外帰国生徒は皆、本校にすぐに慣れ親しみ、各々の個性を活かすことができると述べています。

新城高校では、本校で身につける 7 つの力として「1 基礎学力・大学や社会につながる発展的学力」「2 知的探求心・主体的に学ぶ力」「3 自ら考え、判断し、表現し行動する力」「4 人間関係を形成するコミュニケーション力」「5 多様な価値観を理解し、他者と協働する力」「6 ルールやマナーを守り社会や集団に参画する力」「7 自己を律する力と、自己を確立し自立する力」を掲げています。

特色としては、シチズンシップ教育の取組みがあります。神奈川県教育力向上推進事業 ver. II の研究推進校としての 3 年間の先進的な研究を終え、平成 28(2016)年度からは、「教育課程研究開発校(新科目『公共』に係る研究)」に指定されました。本校のシチズンシップ教育では、身近なことや社会の問題を自分の問題として考え、能動的に責任ある行動をとることができる市民としての態度や能力を養うことを目標としてきました。また、教科学習はもちろん、「総合的な学習の時間」や特別活動を通して、幅広く学び、社会に貢献できる力を身につけるようにしています。

学習面では、一人ひとりの興味・関心を知的探究へ深めるため、生徒参加型授業や、プレゼンテーション能力向上を目指した授業など効果的な授業を展開します。また、卒業後の自分の将来像が描けるように 3 年間の進路計画づくり、キャリア講演会の実施、大学模擬授業体験等を通してキャリア教育を展開します。

文化祭・体育祭など学校行事や部活動も大変盛んで、充実した高校生活を謳歌できます。部活動は、現在 24 部 1 同好会があり、毎年全校の 7 ～ 8 割を超える生徒が活動しています。

## (2) 教育課程

平成 15(2003)年度から二学期制を導入し、一昨年度からは 50 分週 32 コマの授業を実施しています。月曜日と木曜日は、7 校時まで授業があり十分な授業時間を確保します。

新城高校では、基礎学力の充実向上と、それを発展させる幅広い選択科目を設定しています。3 年間を通して、生徒一人ひとりの能力や個性を引き出し、国公立・難関私立大学への入学や大学等の卒業後までを意識し、希望する進路を実現できるようなカリキュラムを編成しています。新教育課程は、次のとおりです。

1 年次：芸術「音楽、美術」の選択以外は必修科目で基礎学力を養います。

2 年次：必修科目で基礎学力を定着させるとともに、選択制を導入し、希望進路の早期実現を図ります。

3 年次：多様な選択科目で、興味・関心・進路希望に応え、進路実現をめざします。

1 学年は、「国語総合」「地理 A」「数学 I」「数学 A」「化学基礎」「生物基礎」「体育」「保健」「コミュニケーション英語 I」「英語表現 I」「家庭基礎」「社会と情報」「総合的な学習の時間」が必修となります。また、芸術科目は、「音楽 I」「美術 I」の 2 科目のうち 1 科目の選択必修となります。

2 学年は、学習の幅を広げると同時に深さを増すように工夫された教育課程になっています。「現代文 B」「古典 B」「世界史 A」「日本史 A」「数学 II」「数学 B」「物理基礎」「体育」「保健」「コミュニケーション英語 II」「英語表現 II」「総合的な学習の時間」が必修、さらに生徒一人ひとりの興味・関心、進路に応じて「世界史 B」「日本史 B」「化学」「生物」「音楽 II」「美術 II」の 6 科目の必修選択科目から 1 科目を選んで履修することになっています。

3 学年は、必修選択科目に加え、多彩な自由選択科目を取り入れた教育課程になっています。「現代文 B」「現代社会」「体育」「コミュニケーション英語 III」「英語表現 II」「総合的な学習の時間」が必修、それ以外は、22 科目の必修選択科目の中から 3 科目を選択（「数学 III」を選択した場合は 2 科目）します。さらに 23 科目の自由選択科目から 3 科目まで選択することもでき、多様な進路への対応が図られています。

詳細については、今後、変更の可能性もありますので、学校見学、ホームページ等でご確認ください。

## (3) 海外帰国生徒の学習

平成 30(2018)年 4 月現在、海外帰国生徒は 21 名（1 学年 6 名、2 学年 9 名、3 学年 6 名）が在籍しています。海外帰国生徒特別募集、編入学など入学時期は異なりますが、伸び伸びと学校生活を送っています。

海外帰国生徒は、クラス編成では一般生徒と特に区別をしていません。同じ教育課程で学習しますが、そのほかに、海外生活で不足しがちな国語・数学・理科・地歴・公民及び外国語の 6 教科について、基礎学力の補充のため、本人の学力の状態や希望により、必要に応じて放課後等を利用して補習などを行うことにしています。

## (4) 海外帰国生徒の卒業後の進路

一般生徒のほとんどが、上級学校へ進学しています。海外帰国生徒もほとんどが大学への進学を希望し、実際に進学しています。なかには、帰国生徒であることを生かした受験をする生徒もいます。もちろん能力に応じて一定の努力は必要ですが、目的意識を持って進路選択を行い堅実に学習に取り組んでいけば、一般生徒と比較して特に進路面で不安を感じる必要はありません。